

総務文教常任委員会

令和4年度一般会計予算

第三セクター経営改善支援貸付金に2億7,325万5千円

令和4年度一般会計予算の内、総務部、教育委員会関係予算が審査されました。4社が統合される第三セクターに対して、借入金を市が肩代わりするための経営改善支援貸付金や、田沢湖庁舎の冷暖房設備・防災設備・トイレ改修等の予算が計上されております。

令和4年度一般会計予算 (総務常任委員会で審査された項目)

項目	令和3年度予算額	令和2年度予算額	比較	伸び率	備考
議会費	1億5,333万円	1億4,426万円	907万円	6.3%	議会運営に関する予算
総務費	46億3,827万円	44億1,117万円	2億2,710万円	5.1%	人件費など行政運営全般や企画制作費
消防費	8億1,425万円	8億9,778万円	△8,352万円	△9.3%	大曲仙北広域消防や消防団に関する予算
教育費	14億8,212万円	14億7,191万円	1,201万円	0.7%	小中学校や公民館等の予算
公債費	21億5,660万円	20億9,154万円	6,506万円	3.1%	借金の返済

令和4年度 総務部・教育委員会関係の一般会計予算 主な内容

公共施設等マネジメント事業費	1億5,436万円	公共施設等総合管理計画に基づき、田沢湖庁舎冷暖房エアコン設置工事、電源工事、内窓サッシ改修、シャワートイレ設置、非常用電源設備、PCB処理
ふるさと納税ふるさと便事業費	7億6,356万円	ふるさと納税の返礼品に地元特産品を利用したふるさと便を実施し、ふるさと納税の推進と市内産業の活性化を図る
サテライトオフィス誘致促進事業費	2,288万円	首都圏のデジタル企業への誘致活動や、市内移動手段の実証実験等を行う
地域運営体活動推進費交付金	2,268万円	地域運営体活動への交付（前年比△30%）
第三セクター経営改善支援貸付金	2億7,325万円	第三セクター4社の新設合併を前提とした債務整理のため、債務相当額を貸付
秋田内陸縦貫鉄道(株)運営費補助金	7,980万円	秋田県、北秋田市、仙北市が秋田内陸縦貫鉄道(株)を存続させるための補助金
学校適正配置関係事業費	337万円	小中学校の将来の適正配置に向けたアンケート調査、説明会、意見交換会を行う
GIGAスクール構想推進事業費	1,454万円	令和3年度から一人1台の学習用タブレット端末を使用したICT環境整備
中学校部活動指導員配置事業費	225万円	中学校に部活動の指導員を配置し、部活動の充実と教職員の負担軽減を図る

ここが知りたい議論のポイント

令和4年度 一般会計予算の主な質疑

地域運営体の継続は

質問 地域運営体は継続していくのか。

答弁 地域運営体は前門脇市長の肝いりで始めた事業である。田口市長も基本的に継続したいという考えなので、予算を有効に使っていただけるよう努力する。運営体の考え方が反映されない形で予算の使い方や、単純にお金を消化するような使い方は控えてほしいと通知している。

第三セクターは統合により黒字化となるか

質問 早い時期に結論を出すというが、どのような形にしていけるのか想定している考えを伺う。

答弁 現状のままでは何も変わらないので、4社統合に向け、それぞれのプロジェクトチームの上に更に統合を推進するための、統合推進委員会を主力銀行の秋田銀行を含めた形で進め黒字化を目指す。

質問 7月から1社にするというが、その間の3カ月は指定管理料で賄うのか。4月から今まで通りの運営だと当然借金が出てくると思うが、その場合の対処はどうするのか。

答弁 今までの毎月の償還額を市が立て替え予定であるが、市への償還を3年間据え置きして、そういう部分で余剰金が出てくる。負債もあるが手持ち現金もあるので、市が更に貸し付けることのない形で統合に向けた打合せをしている。

秋田内陸線の赤字対策は

質問 内陸線の赤字が2億円を超えるとの報道があったが、4社合意の中では、2億円を超えると経営そのものを検討する決まりがあると思うが。

答弁 今年度は2億1,539万円の赤字になるという見込みである。平成22年に交わした4社合意では、当面の間という言葉で2億円を下回ることを目標としているが、今回7年ぶりに2億円を超えるので話し合いをする場が生まれると考えている。



■ 2億円を超える赤字となる秋田内陸線

市民福祉常任委員会

令和4年度 一般会計予算 民生費・衛生費77億4,946万円 新型コロナウイルスワクチン接種関連費用に8,123万9千円

令和4年度一般会計予算の内、民生費・衛生費が審査されました。福祉医療費2億1,966万円には、8月から実施予定の高校生までの医療費の無料化・窓口負担なしの予算も盛り込まれています。新型コロナウイルスワクチン接種関連事業に8,123万9,000円などが計上されています。

令和4年度一般会計予算 (市民福祉常任委員会で審査された項目)

項目	令和4年度予算額	令和3年度予算額	比較	増減比率	備考	
民生費	社会福祉費	28億6,677万円	28億 811万円	5,866万円	2.1%	障害者や高齢者の福祉に関する予算
	児童福祉費	17億1,759万円	16億2,128万円	9,631万円	5.9%	認可保育園の運営など児童福祉の予算
	生活保護費	4億9,019万円	5億1,394万円	△2,375万円	△4.6%	生活保護に関わる予算
	国民年金費	822万円	763万円	60万円	7.9%	国民年金に関連する予算
	災害救助費	91万円	97万円	△6万円	△6.2%	災害救援に関する予算
	計	50億8,368万円	49億5,192万円	1億3,176万円	2.7%	
衛生費	保険衛生費	6億8,113万円	6億2,975万円	5,138万円	8.2%	病気予防や医師確保歯科診療所上層整備など
	水道費	1億9,468万円	1億6,728万円	2,740万円	△16.4%	簡易水道、小規模水道等の運営に関する予算
	病院費	9億2,649万円	10億9,718万円	△1億7,069万円	△15.6%	病院事業に対する補助などの予算
	清掃費	8億6,349万円	7億7,868万円	8,481万円	10.9%	ゴミ処理、し尿処理施設などの運営費
	計	26億6,579万円	26億7,290万円	△710万円	△0.3%	

令和4年度 市民福祉部関係の一般会計予算 主な内容

障害者自立支援給付費	5億8,746万円	障害を有する方への障害福祉サービス費
高齢者の保健事業と介護事業の一体的実施事業費	351万円	訪問支援を行いながら、必要な医療・介護サービス費用
社会福祉法人はなさき仙北補助金	3億5,600万円	幼保連携型認定こども園5園を運営する「はなさき仙北」へ補助金
緊急通報装置給付・貸付事業費	215万円	ふれあい安心電話貸付事業（仙北市社会福祉協議会委託）
保育士・幼稚園教諭等処遇等改善臨時特例事業費	685万円	はなさき仙北、保育室ねむねむのきへの経済対策支援
福祉医療	2億1,966万円	18歳までの子どもの医療費や窓口負担の無償化などの費用

ここが知りたい 議論のポイント

令和4年度
一般会計予算の主な質疑

障害者自立支援給付の内容は

質問 予算の内容と対象となるのはどのような方か。認知症の方も対象になるのか。

答弁 自立支援給付費は、介護給付、訓練等給付、自立支援医療、補装具の給付費となっている。大きい金額は、介護給付費で障害へルパー770万円強、短期入所サービス1,400万円弱、通所して生活介護2億7,000万円弱、長期施設入所9,000万円弱などで主に、通所入所サービスで5億6,000万円弱になっている。身体障害者手帳、精神障害者手帳、療育手帳を持っている方のほか、障害区分認定（介護保険で例えると、要介護認定）を受けた方が対象となる。認知症の方は対象とはなっていない。

緊急通報装置給付・貸付事業の内容は

質問 内容の詳細と利用者はどれくらいか。

答弁 ふれあい安心電話は、秋田県社会福祉協議会が事業主体で、仙北市社会福祉協議会への委託事業として、市の財源を使って定額で設置し実施している。来年度4月から県社会福祉協議会が事業撤退すること、夜間や緊急時対応として協力員1名の確保も難儀することから、民間の警備保障会社を導入することにより、駆けつけが早く、より安心であり消防・警察等との連携も強化される。委託先の仙北市社会福祉協議会はアルソックの導入を考えているようだ。



■ 4月1日から（福）はなさき仙北が運営する角館こども園

産業建設常任委員会

令和4年度一般会計予算

農林水産業費 3億5,239万円の減額 (前年比△31%)

令和4年度の一般会計予算の内、労働費、農林水産費、商工費、土木費などの予算が審査されました。特に農林水産費は前年度対比で、マイナス3億5,239万円(△31%)と減額幅が大きくなっておりませんが、基盤整備関連やメガ団地等の大きな事業が終了したことによるものです。

令和4年度一般会計予算 (産業建設常任委員会で審査された項目)

項目	令和3年度予算額	令和2年度予算額	比較	増減比率	備考
労働費	6,364万円	6,293万円	71万円	0.1%	シルバー人材センター補助金など
農林水産業費	7億7,010万円	11億2,249万円	△3億5,239万円	△31%	基盤整備事業等終了に伴う減額
商工費	8億2,161万円	8億2,373万円	△212万円	△0.2%	商工業振興や観光振興の予算
土木費	17億3,961万円	17億6,288万円	△2,327万円	△1.3%	道路改良及び他会計補助金等

令和4年度 観光スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計予算 主な内容

農業夢プラン型戦略作物等生産基盤拡大事業費	3,451万円	県事業に市が上乗せして行う事業で主に園芸・畜産等に対する補助
仙北市畑作園芸等振興事業費補助金	280万円	国、県の補助事業に該当しなかった畑作園芸に施設や農機購入補助
農業水利施設小水力発電事業費負担金	46万円	仙北平野土地改良区小水力発電事業負担分
中小企業活性化支援事業費補助金	800万円	起業や事業拡張に係る施設整備、機械購入費に対する助成
自然ふれあい温泉館維持管理費	3,569万円	令和4年度より市直営の運営になるための維持管理費
道路新設改良費	6億3,610万円	交付金を活用した市道の道路改良事業(観光線等8事業)の実施

ここが知りたい 議論のポイント

令和4年度一般会計予算の主な質疑

シルバー人材センターとの
関わりについて

質問 シルバー人材センターへの補助金(800万円)の用途及び市の関わりや責任の所在について伺う。

答弁 シルバー人材センター補助金は、事業管理経費の一部を補助する支出となる。事業や就労等については、シルバー人材センター事務局で管理している。会員間での仕事の差配やコミュニケーション等に対しての意見や相談については、商工課で受けたものは事務局にその声を届けている。今後、商工課と事務局との関係を密にして、シルバー人材センター運営に尽力していく。

グリーンツーリズムについて
質問 グリーンツーリズム推進事業(127万円)の状況について伺う。

答弁 令和3年度現在、36件の農家民宿の登録があり、9、115人の利用である。このうち外国人の利用は、在日外国人を中心に52人の利用である。新加入の農家民宿は神代地区の1件となっている。今年度

の教育旅行の受け入れ実績として宮城県から35校、北海道から7校、ほか秋田県内から298校、2万3,045人の実績で、これは過去最高となっている。しかし、市内経済への波及効果については今後、検証が必要と捉えている。

河川公園の管理と市営住宅の整備について

質問 河川公園の管理及び市営住宅の利用率と今後の整備方針について伺う。

答弁 河川公園は、西木地区、桜木内川、河川公園、大石沢河川公園の2箇所を管理している。市営住宅の利用率は、2月時点で88.3%である。市営住宅は住宅困窮者等へ住宅を提供することを目的としており、現状としては、民間のアパート建設等も進んでいることから、新たな市営住宅の建設計画はない。



市が管理する大石沢河川公園

令和4年度企業会計 当初予算

項目	予算額	前年比	備考
温泉事業会計	9,567万円	(△2,423万円)	改良工事費等の減
水道事業会計	15億3,641万円	(+2億9,291万円)	上水道未普及地域解消老朽管更新事業費の増
下水道事業会計	15億5,632万円	(△1億3,816万円)	建設改良費等の減